

取組目標（案）【遠賀川】

■5年間で達成すべき目標

これまでに経験したことのない大規模水害に備え、ソフト・ハードの取り組みにより、住民の大切な命を守るため「自助、共助、公助」のバランスのとれた地域防災力の向上を図り、「社会経済の被害の最小化」を目指す。

■上記目標達成に向けた3本柱の取り組み

遠賀川流域は、これまで度重なる水害を経験し、各々の地域(21市町村)の方々や関係機関・団体が協働して防災・減災力を高めてきた。これまでに経験したことのない大規模な洪水氾濫が発生した場合においても、遠賀川流域に係わる全ての関係者が協働し、バランスのとれた地域防災力の向上を図り、着実な施設整備とあわせ、流域の被害を最小限に止めるために、下記の取り組みを実施する。

1. 地域の防災文化を育む、遠賀川水防災学習・教育等の更なる充実による住民意識の向上
2. 流域の関係機関・団体が連携し、一丸となった備えと施設・体制の着実な整備の推進
3. 全ての方々の避難行動に繋がる、常時・非常時の正確で分かりやすい情報の発信